

令和4年度 創造調和

令和4年10月7日
半田市立半田中学校
第6号
学校だより

野外活動 心に刻め～青春の1ページ～

9月20日（火）から9月22日（木）まで、2年生が野外活動に行ってきました。
台風14号が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、計画した行事をすべてやり遂げることができました。

野外活動に行く前に、生徒に向けてこんな話をしました。

人は自然の中では、思い通りにはいきません。だからこそ、自然をありのまま受け入れ、うまくいかないときこそ、みんなで助け合って乗り越えよう。そこに生まれる絆、団結力が、これから生きていくエネルギーに変わっていきます。



台風14号の影響で、旭高原自然の家の周辺では、倒木により電線が切れて停電になったそうです。電力会社の懸命の復旧作業により、半田中学校が旭高原自然の家を利用できるようにしていただきました。私たちのために、動いてくださった職員さんの思いが大変ありがたかったです。

2年生は、この野外活動で一段一段、隠し階段を上るように成長する姿が見られました。野外活動では、3つの目標がありました。①自ら考え、判断し、行動すること、②何事にも挑戦し、全力で取り組むこと、③仲間を大切にすることです。

まず、何事にも一生懸命取り組む生徒の姿は、本当にかっこいい、美しいと感じました。心から応援したくなります。また、応援する側もあったかい。だから、がんばれるのだと思いました。

次に、心がそろろうと行動がそろろう。行動がそろろうと時間がそろろうということを実感しました。1日目は、なかなか集合時間にピタッとそろわず、行事の時間が短くなってしまう場面もありましたが、皆の心の意識が変わり、3日目の朝のつどいでは、時間通りに始めることができました。

目には見えない心をそろえることは難しいことだからこそ、一人一人の心がそろろうと、学級の心をそろろう、学年の心がそろうのだと感じました。

きっと、学年の心がそろろうと、全校生徒の心もそろおうと思います。

2年生、よくがんばりました。



体育祭 半中最高！

9月30日（金）、秋晴れのもと、半中最大の行事、双鳩祭（体育祭）を開催しました。生徒は、夏休みから準備や練習を積み重ね、特に3年生は、団の誇りを胸に、悔いのない演舞にしようとして一生懸命に練習をしました。団長さんは、限られた時間の中で、よく団をまとめ、形にしてくれました。なかなか団がまとまらず苦労した時期もあったと思いますが、この演舞にかける思いが一つになった瞬間を大切に育みながら、最後までやり遂げてくれました。

体育祭では、1～3年生が縦割り団をつくり、3年生が1、2年生に団としての思いを伝え、団としての絆や団結力を育てていきます。みんなの声（あったかい声援）、みんなの汗（輝く眼差し）、みんなの力（絆・団結）は、すごい！と思いました。何度も胸が熱くなりました。体がしびれました。やっぱり、一生懸命はカッコいい、美しい。

3年生は、今年度も新しい伝説をつくってくれました。

2年生は、3年生からハチマキを受け継ぎ、次年度は半中の原動力になります。

1年生は、はじめての体育祭を全力で駆け抜けました。

閉会式で、ある団長さんの挨拶に、「半中最高！」と語ってくれました。これが半中魂、半中のよき伝統。まさに全校生徒が一つになった瞬間でした。

保護者の皆様には、早朝より半中生のがんばる姿をご覧いただき、温かい声援を送ってくださいました。ありがとうございました。



コミュニケーションタイムはじめます

半田中学校では、10月から、友達と認め合う関係をつくり、安心できるクラスにしておくために、朝の読書タイムの時間にコミュニケーションタイムを取り入れることとしました。「ホワイトボードミーティング」と言います。

相手のことを想ったコミュニケーションは、相手の心を温めます。逆に思いやりのないコミュニケーションは、相手の心を冷たくします。コミュニケーションは相手を認めることで成立します。この機会に、コミュニケーションの方法を学び、お互いに心を温め合って、安心できるクラスにしていきたいと思います。

相手の立場になって相手の気持ちに共感しながら話を聴くことを「傾聴」と言います。よく相手の話は、目と耳と心で聴くことが大切だと言われますが、相手の話を聴くときに、こんな言葉をかけてみるとよいです。

「うんうん」「なるほど、なるほど」「わかる、わかる」「そうなんだあ」「へえ」「だよね」「それで、それで」「そっかあ」

